

和光市地域福祉に関するアンケート調査

【調査への協力をお願い】

日頃より、市福祉行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、「地域課題を解決するための 自助・互助・共助・公助を基本とした 地域福祉を推進するまちづくり」を基本理念に、地域福祉の推進に取り組んで参りました。

この度、「第四次和光市地域福祉計画・和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画」の計画期間が今年度をもって終了することから、令和8年度(2026年度)からの5年を計画期間とした「第五次和光市地域福祉計画・和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画」の策定に取り組んでおります。

本調査では、皆さまのお住まいの地域や「地域福祉」に関する意識や考え方などをお聞きし、計画の策定に向けた貴重な基礎資料として活用させていただきたいと考えております。

なお、ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理され、調査結果から個人が特定されることはなく、また、本市の福祉施策推進および統計の目的のみに使用します。

大変お忙しい中恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をお願いします。

令和●年(●●●●年)●月

和光市

～ご記入にあたって～

1. ご回答は、必ず宛名のご本人がご記入ください。本人による記入が困難な場合は、本人の考えを確認し、ご家族の方などが代理でご記入ください。
2. ご回答は、質問をよく読んで、あなたの考え方に最も近い番号を選び、その番号に○を付けてください。○の数は、設問によって1つの場合と複数の場合がありますので、設問の最後の【 】内の指示に従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある()内に具体的な内容をご記入ください。
3. 令和●年(●●●●年)●月●●日(●)までに回答してください。
4. お手数ですが、ご記入いただいたこの調査用紙を同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、投函してください。
5. この調査はインターネットでの回答も可能です。パソコン、タブレット、スマートフォンで調査専用画面にアクセスし、画面の指示に従って回答してください。

【URL】

<https://lbnb.f.msgs.jp/webapp/wish/org/showEnquete.do?enqueteid=1&elientid=26401&databaseid=lbnb>



(二次元コード)

【お問い合わせ先】和光市 地域共生推進課

電話：●●●● FAX：●●●● Email：●●@●●●●

1. あなたご自身とご家族のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。(一つに○)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢はおいくつですか。(一つに○)

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 16～19 歳 | 3. 30～39 歳 | 5. 50～59 歳 | 7. 70～79 歳 |
| 2. 20～29 歳 | 4. 40～49 歳 | 6. 60～69 歳 | 8. 80 歳以上 |

問3 あなたの現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。(一つに○)

- | | |
|--------------------------------------|-----------------|
| 1. 正規の社員・職員・役員 | 4. 専業主婦・主夫 |
| 2. 非正規の社員・職員
(嘱託・パート・アルバイト・契約・派遣) | 5. 学生 |
| 3. 自由業・自営業 (家業手伝いを含む) | 6. 無職 |
| | 7. その他 (具体的に:) |

問4 現在、あなたが同居している世帯の構成は、次のどれにあたりますか。(一つに○)

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| 1. ひとり暮らし | 5. ひとり親と子ども (一番下の子どもが18歳以上) |
| 2. 夫婦のみ | 6. ひとり親と子ども (一番下の子どもが18歳未満) |
| 3. 夫婦と親 (二世帯同居) | 7. 三世帯同居 |
| 4. 夫婦と子ども (二世帯同居) | 8. その他 (具体的に:) |

問5 あなたのお住まいの住居形態は、次のどれにあたりますか。(一つに○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 持ち家 (一戸建て) | 4. 民間賃貸 (集合住宅) |
| 2. 持ち家 (集合住宅) | 5. 社宅・公務員住宅等 |
| 3. 民間賃貸 (一戸建て) | 6. その他 (具体的に:) |

問6 あなたのお住まいはどちらですか。(一つに○)

- | | | | |
|----------|----------|--------|--------|
| 1. 白子 | 4. 南 | 7. 下新倉 | 10. 本町 |
| 2. 諏訪 | 5. 西大和団地 | 8. 丸山台 | 11. 新倉 |
| 3. 諏訪原団地 | 6. 広沢 | 9. 中央 | |

2. 近所付き合い、地域の暮らしについて

問7 家族以外の近所の人で、日常的に会話をする人は何人いますか。(一つに○)

- | | | | |
|--------|----------|----------|---------|
| 1. いない | 2. 1人～2人 | 3. 3人～4人 | 4. 5人以上 |
|--------|----------|----------|---------|

問8 ご近所の付き合いは、どの程度していますか。(○は一つ)

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 家を行き来する等、親しくしている | 3. 挨拶をする程度 |
| 2. 立ち話をする程度 | 4. ご近所付き合いをしていない → 問8-1へ |

問8-1 近所付き合いをしていない理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 仕事や学業、家事・育児等で忙しく時間がないから | 5. 気の合う人や話の合う人が近くにいないから |
| 2. 引っ越してきて間もないから | 6. あまり関わりを持ちたくないから |
| 3. 普段、付き合う機会がないから | 7. 必要性を感じていないから |
| 4. 同世代の人が近くにいないから | 8. その他(具体的に:) |

問9 あなたの地域で次のような世帯を見たり、聞いたりしたことがありますか。(いくつでも○)

- | |
|--|
| 1. 大量のごみが自宅や周辺に放置されている世帯(ごみ屋敷) |
| 2. 高齢者のみで構成され、主世帯員同士が介護している世帯(老々介護) |
| 3. 近隣や地域と関わりを持たない世帯(孤立世帯) |
| 4. 自宅にひきこもっている人がいると思われる世帯(ひきこもり) |
| 5. 高齢の親がひきこもり状態にある中高年の子どもの生活を支えている世帯(8050世帯) |
| 6. 子育てと親の介護を1人で同時に抱えている世帯(ダブルケア) |
| 7. 未成年の子どもが家族の介護等によって、自分の時間を持たない世帯(ヤングケアラー) |
| 8. 家族の間で虐待が疑われている世帯(虐待) |
| 9. 上記以外で、深刻な課題を抱えていると思われる世帯(具体的に:) |
| 10. 見たり聞いたりしたことはない |

問10 和光市は子どもたちにとって住みやすいまちだと思いますか。(○は一つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない |
| 2. まあまあそう思う | 4. 思わない |

3. 市民同士の支え合い、地域活動について

問11 あなたは次の事柄について、家族以外の周りの人から手助けをしてほしいと思いますか。また、周りの人に手助けできること(してもいいこと)はありますか。

①手助けしてほしいか、②手助けできるかについて、それぞれ一つに○をつけてください。

	手助けしてほしい	手助けできる	どちらもない
ア. 安否確認の声掛け	1	2	3
イ. ちょっとした買い物やゴミ出し	1	2	3
ウ. 食事や掃除・洗濯の手伝い	1	2	3
エ. 通院の送迎や外出の手助け	1	2	3
オ. 子どもの預かり	1	2	3
カ. 話し相手や相談相手	1	2	3
キ. 災害時の避難の手助け	1	2	3
ク. 具合が良くない時に病院等に連絡する	1	2	3
ケ. その他(具体的に:)	1	2	3

問 12 家族以外の周りの人に問 11 のア～ケのような手伝いや手助けをする（してもらう）にあたり、どのような取り組みがあると良いと思いますか。（いくつでも○）

1. 手助けをしてほしい人と手助けできる人をコーディネート（紹介）する仕組み
2. 地域コミュニティについて学ぶ講座
3. 手助けできる人の人柄やスキルを学ぶことのできる仕組み
4. その他（具体的に： _____）
5. 取り組みは必要ない（できる時はする）
6. わからない

問 13 市内では様々な地域活動やボランティア活動が行われていますが、①あなたは次のような活動に取り組んでいますか。②今後、次のような活動に取り組みたいですか。（それぞれ一つに○）

① 取組状況	取り組んでいる	取り組んでいない
ア. 子育て世帯・青少年を支援する活動、子ども会やPTA活動	1	2
イ. 高齢者を支援する活動	1	2
ウ. 障害のある人を支援する活動	1	2
エ. お祭りや運動会等のレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動	1	2
オ. 交通安全や犯罪防止等、地域の安全を守る活動	1	2
カ. 防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	1	2
キ. 地域の環境美化、環境保全・自然保護等の活動	1	2
ク. 自治会・地区社協・老人クラブ等の活動	1	2
ケ. 趣味・習い事等の活動	1	2
コ. その他（具体的に： _____）	1	2

② 今後の意向	取り組みたい・興味がある	取り組まない・興味がない	わからない
ア. 子育て世帯・青少年を支援する活動、子ども会やPTA活動	1	2	3
イ. 高齢者を支援する活動	1	2	3
ウ. 障害のある人を支援する活動	1	2	3
エ. お祭りや運動会等のレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動	1	2	3
オ. 交通安全や犯罪防止等、地域の安全を守る活動	1	2	3
カ. 防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	1	2	3
キ. 地域の環境美化、環境保全・自然保護等の活動	1	2	3
ク. 自治会・地区社協・老人クラブ等の活動	1	2	3
ケ. 趣味・習い事等の活動	1	2	3
コ. その他（具体的に： _____）	1	2	3

問 14 どのような条件であれば、地域活動やボランティア活動に参加・活動しやすいですか。

(いくつでも○)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 子どもの世話や介護を代わってもらう | 7. 参加することでメリットがある (報酬等) |
| 2. 活動や団体に関する情報を紹介してくれる | 8. 活動資金の補助や援助がある |
| 3. 友人・知人と一緒に参加できる | 9. その他 (具体的に:) |
| 4. 時間や期間にあまり縛られない | 10. わからない |
| 5. 身近なところに活動できる場がある | 11. 条件によらず、参加したくない |
| 6. 世話人やリーダーがいる | |

問 15 地域活動やボランティア活動の情報をどのような方法で探していますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 市や社会福祉協議会の広報・ホームページ | 6. 活動団体や大会・イベントのホームページ |
| 2. 図書館・公民館等にあるポスターやチラシ | 7. SNSを活用 |
| 3. 学校や職場にあるポスターやチラシ | 8. 友人・知人に聞く |
| 4. 駅やお店にあるポスターやチラシ | 9. その他 (具体的に:) |
| 5. ボランティア等の募集情報サイト | 10. 探したことがない |

問 16 近年、様々な主体による地域活動が行われています。あなたが参加しやすい活動は何ですか。(いくつでも○)

- | |
|---|
| 1. 地縁を基盤とする活動 (自治会、地区社協、老人クラブ、マンション管理組合等) |
| 2. 特定分野の法人を基盤とする活動 (NPO法人・社会福祉法人等) |
| 3. 同じ趣味・志向を持つ人たちの活動 (趣味の同好会・教室・子育てサークル) |
| 4. 学校等を基盤にする活動 (保護者会・PTA・おやじの会等) |
| 5. その他 (具体的に:) |
| 6. わからない、関心がない |

問 17 あなたは和光市社会福祉協議会を知っていますか。(いくつでも○)

- | | | |
|----------|----------------------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 名前を聞いたことはあるが何をしているか知らない | 3. 知らない |
|----------|----------------------------|---------|

4. 暮らしのことについて

問 18 日常生活での困りごとを相談できる人や機関はありますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------|
| 1. 同居の家族 | 8. かかりつけ医・薬剤師や保健師等の医療関係者 |
| 2. 別居の家族や親戚 | 9. 市の職員 |
| 3. 自治会や近所の人 | 10. 社会福祉協議会 |
| 4. 友人・知人 | 11. 地域包括支援センター |
| 5. 民生委員・児童委員 | 12. その他 (具体的に:) |
| 6. 地域福祉コーディネーター | 13. 身近に相談できる人や機関はない |
| 7. ケアマネジャー (介護支援専門員)・ヘルパー (介護員) 等の事業者 | |

問 19 あなたが孤独・孤立を感じた時、どのようなことがあれば良いですか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 匿名で相談できる | 4. 誰かと食事ができる |
| 2. 同じ悩みを持つ人と交流できる | 5. 趣味やスポーツなど、没頭できるものがある |
| 3. お話をする相手がいる | 6. その他(具体的に:) |

問 20 現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか。(一つに○)

- | | |
|------------------|--------|
| 1. はい → 問 20-1 へ | 2. いいえ |
|------------------|--------|

問 20-1 差し支えなければ、お困りごとの内容をお聞かせください。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 自分の健康・病気 | 8. 住まい |
| 2. 家族の健康・病気 | 9. お金(財産管理・相続含む) |
| 3. 自分の学業・仕事 | 10. 人間関係、人との付き合い方 |
| 4. 家族の学業・仕事 | 11. 自分または家族のひきこもり |
| 5. 親の介護・介助 | 12. 中高年の子どもの生活を支えている |
| 6. ダブルケア(育児と介護の両立) | 13. その他 |
| 7. ヤングケアラー(未成年の子どもによる介護) | (具体的に:) |

5. 地域福祉活動について

問 21 市の福祉サービスを充実する取組は何だと思えますか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 相談体制や情報提供の充実 | 6. 市民活動の導入による福祉サービスの確保と活性化 |
| 2. 利用者の立場や権利を保護・擁護する制度の充実 | 7. 市民・関連団体・行政の連携と協働の推進 |
| 3. 在宅サービスの質と量の確保 | 8. 市民への福祉意識の啓発 |
| 4. 施設サービス(保育園や入所施設等)の質と量の確保 | 9. その他(具体的に:) |
| 5. ボランティア団体やNPO等の育成・活動支援 | 10. 特にない |

問 22 どこに相談すれば良いかわからない生活上の困りごとを抱えている世帯に対し、以下の取組を進めるべきだと思いますか。(それぞれ一つに○)

	進めるべき	どちらかというに進めるべき	どちらかというではない	進めるべきではない
ア. 支援に繋がらない世帯に対するアウトリーチ(訪問)型の支援の充実	1	2	3	4
イ. どこに相談すれば良いかわからない不安や悩みを受け付ける相談窓口の充実	1	2	3	4
ウ. 社会参加のきっかけづくりとなる居場所支援の充実	1	2	3	4

問 23 和光市の福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 市ホームページ | 5. 家族、友人・知人からの口コミ |
| 2. 市の広報紙・チラシ | 6. SNS |
| 3. 市役所・相談機関等の窓口 | 7. その他(具体的に:) |
| 4. テレビ(ケーブルテレビを含む)・ラジオ | 8. 特になし、情報は入手していない |

問 24 在住外国人にとっても暮らしやすい地域にするためには、どのようなことが大切だと思いますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 日本語習得の手伝いをする | 6. 外国語教師等、活躍の場を増やす |
| 2. お互いの文化を知る機会を増やす | 7. 気軽に相談できる窓口の充実、地域とのかかわりを増やすための受け入れ体制を整備する |
| 3. お知らせや情報について外国語版を作成する | 8. その他(具体的に:) |
| 4. 言葉がわかるボランティアを増やす | 9. わからない |
| 5. 地域活動や行事に誘う等地域との関わりを深める | 10. 特になし |

6. 災害対策について

問 25 災害発生時に備えて、どのような取り組みをしていますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| 1. 避難所の場所と避難場所への経路を確認している | 5. 災害等の緊急時に、手助けが必要な近隣住民を把握している |
| 2. 日頃から地域の防災訓練に参加している | 6. その他(具体的に:) |
| 3. 災害に備え、備蓄を行っている | 7. 特になし |
| 4. 地域の自主防災組織に参加している | |

問 26 避難行動要支援者名簿について、説明文を読む以前にどの程度知っていましたか。(一つに○)

※**避難行動要支援者名簿**とは

本人等からの申請により、災害時に自力で避難することが難しい人の情報を取りまとめた名簿のこと。名簿には、避難支援が必要な人の住所や連絡先、支援内容の希望などが記載されており、自治体や消防、警察、地域のボランティアなどの関係機関に提供され、迅速かつ効果的に援助するために活用される。ただし、個人情報の取り扱いに関するプライバシーの保護も考慮され、情報の取り扱いは厳密に管理されている。

- | |
|----------------------------|
| 1. 言葉も内容も知っていた |
| 2. 言葉は聞いたことがあったが、内容は知らなかった |
| 3. 言葉も内容も知らなかった |

問 27 避難行動要支援者名簿に登録していますか。(一つに○)

1. 登録している→問 27-1へ 2. 登録していない→問 28へ 3. わからない→問 29へ

問 27-1 登録したきっかけは何ですか。(一つに○)

1. 市役所の窓口で案内を受けて
2. 家族、知人に勧められて
3. 民生委員に勧められて
4. 自ら登録したいと思って
5. その他(具体的に:)

問 27-2 登録後、日常で民生委員や自治会の方等からのコミュニケーション(声かけ)はありましたか。(一つに○)→問 29へ

1. ある 2. ない

問 28 避難行動要支援者名簿に登録しない理由は何ですか。(いくつでも○)

1. 自力で避難できるため必要ない
2. 他人に迷惑をかけたくない
3. 制度を知らない
4. 個人情報の取扱いに懸念がある
5. 同居する家族がいるため必要ない
6. 手続きが煩雑
7. 他人に病名等を知られたくない
8. その他(具体的に:)

問 29 災害時の要支援者の避難支援の他、名簿の活用範囲で知っていることは何ですか。(いくつでも○)

1. 平常時における、要支援者の把握、声掛けなどの見守り
2. 防災訓練等の防災活動
3. 災害時における要支援者の避難支援活動
4. 災害時における要支援者の安否確認
5. 要支援者から同意を得た範囲の自治会や地区社会福祉協議会等の活動

問 30 個別避難計画について、説明文を読む以前にどの程度知っていましたか。(一つに○)

※個別避難計画とは
避難行動要支援者の生活状況や、避難時の注意事項と避難所までの経路を示した計画のこと。

1. 言葉も内容も知っていた
2. 言葉は聞いたことがあったが、内容は知らなかった
3. 言葉も内容も知らなかった

問 31 災害に備え、個別避難計画を作成することについて、どのように考えますか。(一つに○)

1. とても意義があると思う
2. ある程度意義があると思う
3. どちらともいえない
4. あまり意義はないと思う
5. 意義はないと思う

問 32 上記のように考える理由をご記入ください。(自由記述)

問 33 災害が直面した時に心配になることは何ですか。(いくつでも○)

1. 避難するタイミング	5. 薬、持病
2. 地域の危険性	6. 食料
3. 避難すべき場所	7. 避難所での生活
4. 子どもや高齢者等の安全確保や避難支援	8. その他(具体的に:)

問 34 災害等が起こった際、地域の避難場所を知っていますか。(一つに○)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問 35 避難場所の設備や物資として望むものはありますか。(いくつでも○)

1. 電気・電源	3. 女性特有の物資(生理用品等)
2. プライバシーの保護(間仕切り等)	4. その他(具体的に:)

問 36 災害発生時にどのような地域の防火活動に協力できますか。(いくつでも○)

1. 近所の人々の安否確認	5. ボランティア団体、民生委員等の避難支援活動への協力
2. 自分で移動することが難しい人の避難支援	6. その他(具体的に:)
3. 出火防止・初期消火等の消防活動への協力	7. 特になし
4. 負傷者の救出活動、応急救護、搬送等への協力	

問 37 近所の避難行動要支援者の避難支援員になることができますか。(一つに○)

1. できる	2. できない	3. すでになっている
--------	---------	-------------

問 38 災害発生時に備えた避難行動要支援者対策について、特に重要だと思うものは何ですか。(3つまで○)

1. 安否の確認体制	7. 発生時または発生のおそれがある時に避難支援等に協力を依頼する企業団体等との協定
2. 避難行動要支援者が円滑に避難するための情報伝達手段	8. 在宅避難に向けて自宅内の安全確保(家具の転倒防止等)
3. 避難行動要支援者名簿の作成	9. その他(具体的に:)
4. 個別避難計画の作成	10. 特になし
5. 平常時における避難支援等の関係者との連携	11. わからない
6. 避難支援等関係者の安全確保	

問 39 避難行動要支援者対策をより広く周知するためにはどうしたらよいと思いますか。(いくつでも○)

1. 市広報に特集記事を掲載する
2. 案内のチラシを全戸配布する
3. 関係各課窓口や介護事業所にチラシを掲示する
4. 市民向けに制度説明会を開催する
5. その他(具体的に:)

7. 権利擁護支援について

※**権利擁護支援**とは

判断能力が不十分な人の個人の権利が侵害されることを防ぎ、日常生活を営む上で適切な決定ができるよう手助けすること。

問 40 あなたは将来の備えとしてどのようなことに不安を感じますか。(2つまで○)

1. 急な入院や施設への入所のこと
2. 預貯金や生活費の管理のこと
3. 判断能力が低下した時の生活のこと
4. 遺言作成・終活に関すること
5. その他(具体的に:)
6. 特になし

問 41 あなたは自身が亡くなった後のことで不安なことはありますか。(2つまで○)

1. 公共料金等の解約のこと
2. 所有財産のこと
3. 相続のこと
4. 葬儀やお墓に関すること
5. 遺品整理に関すること
6. その他(具体的に:)
7. 特になし

問 42 問 40、問 41 について、必要になった時、家族以外で誰に相談したいですか。(いくつでも○)

1. 身近な支援機関(社会福祉法人、NPO法人等)
2. 専門職(弁護士・司法書士・社会福祉士等)
3. 同じ地域の方
4. 和光市権利擁護センター
5. その他(具体的に:)
6. わからない

問 43 成年後見制度について、説明文を読む以前にどの程度知っていましたか。(一つに○)

※**成年後見制度**とは

認知機能が不十分なために財産管理ができない・福祉サービスの利用契約が結べない方の自己決定をサポートするための制度です。

1. 言葉も内容も知っていた
2. 言葉は聞いたことがあったが、内容は知らなかった
3. 言葉も内容も知らなかった

問 44 あなたや家族が認知症等により判断が十分にできなくなった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。(一つに○)

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. すでに利用している | 3. 利用してみたい |
| 2. 利用したくない → 問 44-1 へ | 4. わからない |

問 44-1 利用したくない理由は何ですか。(2つまで○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 制度の内容や利用方法がわからない |
| 2. 事務手続きが面倒だから |
| 3. 後見人に財産管理や契約手続きを任せるのは不安だから |
| 4. 申立てにかかる費用や後見人へ支払う報酬が負担だから |
| 5. 家族等が支援してくれるから |
| 6. その他(具体的に: _____) |

問 45 あなた自身の判断能力が低下して、身近に支援できる親族等がない場合、誰に支援してほしいですか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 身近な支援機関(社会福祉法人、NPO法人等) | 4. 和光市権利擁護センター |
| 2. 専門職(弁護士・司法書士・社会福祉士等) | 5. その他(具体的に: _____) |
| 3. 同じ地域の方 | 6. わからない |

問 46 和光市権利擁護センターについて、説明文を読む以前にどの程度知っていましたか。(一つに○)

※和光市権利擁護センターとは

和光市社会福祉協議会内に設置されており、地域の高齢者や障害者が安心して生活できるよう、成年後見制度の利用支援や日常生活自立支援(あんしんサポートねっと)、各種相談対応など、権利擁護に関する総合的な支援を提供している。

- | |
|---|
| 1. 名称も事業内容も知っていた |
| 2. 名称は知っていた |
| 3. 名称は知らなかったが、和光市社会福祉協議会に相談できるところがあるのは知っていた |
| 4. 名称も事業内容も知らなかった |

8. 更生を支援するまちづくりについて（再犯防止について）

問 47 犯罪や非行の防止、犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、力を合わせて、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動である「社会を明るくする運動」や「再犯防止啓発月間」を聞いたことがありますか。（一つに○）

※**更生保護**とは

犯罪や非行をした人の改善更生と社会復帰を助けるとともに、再犯を防止し、自立した生活を送ることができるように支援するための制度や活動。

1. 両方とも聞いたことがある
2. 「社会を明るくする運動」のみ聞いたことがある
3. 「再犯防止啓発月間」のみ聞いたことがある
4. 両方とも聞いたことがない

問 48 あなたは、犯罪や非行の防止、犯罪や非行をした人たちの更生を支援するために、協力する民間協力者として、次の方々がいることを知っていますか。（いくつでも○）

1. 保護司
2. 更生保護女性会
3. 協力雇用主
4. BBS会
5. 更生保護施設

※**保護司**とは

犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支援する非常勤の国家公務員。

※**更生保護女性会**とは

地域社会の犯罪・非行の防止と、犯罪や非行をした人の更生支援を目的とするボランティア団体。

※**協力雇用主**とは

犯罪や非行の前歴のために就職が困難な人々を雇用し、その立ち直りを助ける事業主。

※**BBS会**とは

非行や様々な問題を抱える青少年を支援するために、主に大学生や若い社会人によって構成される青年ボランティア団体。

※**更生保護施設**とは

刑務所や少年院を出所した人、または保護観察中の人、自立した社会生活を送るために一時的に入所し、生活支援や社会復帰支援を受ける施設。

問 49 保護司の活動のうち、知っているものはありますか。（いくつでも○）

1. 保護観察
2. 生活環境調整
3. 犯罪予防活動
4. 社会を明るくする運動
5. 保護司は知っているが、活動で知っているものは特にな
6. 保護司自体を知らない

問 50 犯罪や非行の防止、犯罪や非行をした人たちの立ち直りを応援し、社会復帰を果たすために特に重要な支援は何だと思えますか。（いくつでも○）

1. 就労支援
2. 住まいの確保支援
3. 経済的支援
4. 地域住民の声掛け・関わり
5. 非行の防止・就学支援
6. 民間協力者の活動促進
7. どのような支援が必要かわからない
8. 特に必要な支援はない
9. その他（具体的に： ）

問 51 刑務所や少年院を出た人が立ち直り、地域の一員として生活できるように支援することについて、あなたの考えに近いものは次のうちどれですか。(一つに○)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 積極的に支援すべきである | 4. わからない |
| 2. 立ち直りが可能そうな人のみ支援すべきである | 5. その他(具体的に:) |
| 3. 特別な支援や配慮は必要ない | |

問 52 再犯防止のために行政が取り組むべきものはどれだと思いますか。(いくつでも○)

- | |
|--|
| 1. 再犯防止のための計画を策定する |
| 2. 犯罪をした人を地方公共団体の機関で雇用する |
| 3. 市民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする |
| 4. 犯罪をした人に対する支援ネットワーク(病院、学校、福祉施設等の機関や民間団体を構成)を作る |
| 5. その他 |
| 6. わからない |

問 53 あなたは犯罪を犯した人の立ち直りに協力したいと思いますか。(一つに○)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 思う | 3. どちらかと言えば思わない |
| 2. どちらかと言えば思う | 4. 思わない |
| | 5. よくわからない |

問 53-1 どのような協力をしたいと思いますか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 声掛け・関わりを持つ | 4. その他(具体的に:) |
| 2. 再犯防止等の啓発活動に参加する | 5. 具体的には思いつかないが、できることをやりたい |
| 3. 民間協力者との連携 | |

問 53-2 どのような理由からそのように思いますか。(いくつでも○)

- | |
|---------------------------|
| 1. 非行や犯罪をした人が怖いから |
| 2. 専門の民間協力者等が対応するものだと思うから |
| 3. 協力はしたいが、時間等に余裕がないから |
| 4. 具体的に何ができるかわからないから |
| 5. その他(具体的に:) |

9. 困難な問題を抱える女性支援制度について

問 54 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が令和6年4月1日より施行されたことをご存知ですか。(一つに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 55 困難な問題を抱える女性支援のために行政が取り組むべきものはどれだと思いますか。(いくつでも○)

- | | | |
|-----------|------------------|----------------|
| 1. 居住支援 | 4. 医療支援 | 7. 居場所づくり |
| 2. 経済的な支援 | 5. 啓発・理解促進 | 8. その他(具体的に:) |
| 3. 就労支援 | 6. 法律相談等の相談窓口の拡充 | |

問 56 市役所内の相談先を知っていますか。(一つに○)

- | | | |
|----------|---------|----------------|
| 1. 知っている | 2. 知らない | 3. その他(具体的に:) |
|----------|---------|----------------|

問 57 困難な問題を抱える女性支援の内容について知っているものはありますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------|----------|
| 1. 女性相談支援センター | 4. シェルター |
| 2. 女性自立支援施設 | 5. 知らない |
| 3. 女性相談支援員 | |

●地域福祉を進めていくためのご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

●月●日(●)までにご返信ください。